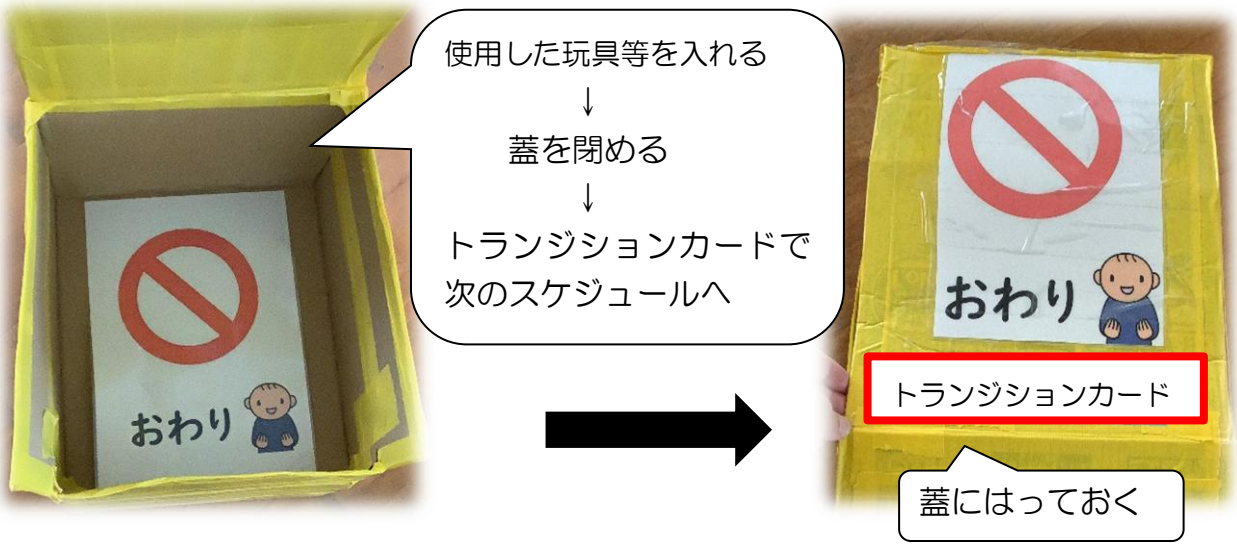
自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入） （区分・項目） 心理的な安定（２）状況の理解と変化への対応に関すること 環境の把握（５）認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること	所属 小学部１年

ねらい
・活動の終わりが分かり、自分で活動を終える。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果　配慮点など）
〈実態〉
・休憩の終わりが分からず、タイマーがなっても遊んでいる。

〈教材・手立て〉
☆タイムタイマーで視覚的に時間の見通しをもたせる
☆玩具等を片付ける箱を用意し、タイマーがなったと同時に子どもに提示して、終わりを視覚的に意識させ、片付け（箱に入れる）よう促す



ひとこと！
活動を終えたものを箱に入れて片付ける姿・自分で次の活動に移る姿が見られ始めました😊

自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入） （区分・項目） 環境の把握（４）感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。 身体の動き（３）日常生活に必要な基本動作に関すること。	所属 小学部２年

ねらい

・スプーンやフォーク、皿を正しく持って、食べこぼしがないように食事をする。
・箸を正しく持つ練習をする。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果　配慮点など）

〈児童の実態〉
・スプーンやフォーク、皿を正しく持てず、食べこぼしが多い。
・鉛筆を正しく持って、文字を書くことができるが、補助箸はまだ使用していない。
・「難しい」と感じると気持ちが不安定になるため、新しいことへの取り組みは、スモールステップで行う必要がある。

〈取り組み〉
①写真やイラストでスプーンや箸の持ち方、給食の皿の置き方を確認する。（図１）

（図１）



②スプーンや皿を持って食べる練習をする。

③動画を見ながら、箸の持ち方の練習をする。（図２）
＊スモールステップで行う
【参考】「正しいお箸の持ち方」（箸匠せいわ）

（図２）

①薬指と小指が動かないように左手で固定して、３本の指で動かす



②2本で持って上下に動かす

＊下の箸は動かず、上の箸だけ動かす
＊箸先がしっかり付くようになると良い！





〈児童の様子〉
・視覚的に提示することで、手本と自分の手元を見比べながら正しく持とうとするようになった。
・給食の配膳時に、正しい位置に皿を置くようになり、食べやすくなった。
・自らお椀や皿を持って食べることが増え、食べこぼしが減った。
・動画を見ながら箸の練習に、楽しく取り組み、箸先が付くように箸を動かせるようになってきた。
（物を掴める動かし方ができるようになってきた。）
・箸で物を掴んでみようとするチャレンジ精神が芽生えている。

ひとこと！

どの取り組みも本人のやる気や自信を高めながら、特に、箸の練習は、スモールステップで取り組むと良いと思います。

自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入）

（区分・項目）

環境の把握（４）感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。

（５）認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。

身体の動き（１）姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。

（５）作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。

所属

小学部３年

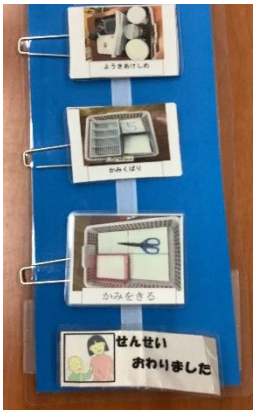
ねらい

・手のひら全体を使って、物をつかみねじり開けたり、両手を使って配ったりすることができる。

☆児童の実態・・・技能的には両手を使う動作はできるが、億劫がってしようとしないことが多い。手のひら全体を使って蓋を開ける、両手を使って運ぶなどは、経験が少なく苦手としている。しかし、すべき内容が明確で、どうなったら終わりかが分かりやすい課題には、集中して続けて行うことができる。

☆取り組み・・・両手を使う課題を設定する。

（課題カード）



☆配慮点・・・見通しをもって取り組めるように、日頃から行っている「一人課題」と同じように「課題カード」を提示する。

（課題例）

シュレッダー



紙をハサミで切る



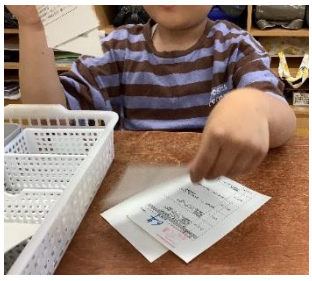
いろいろな大きさの蓋開け・蓋閉め



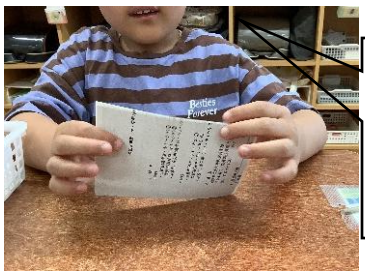
中にボールを入れていて意欲 up

紙を５枚ずつ数える





両手で縦横をそろえる



どんどん両手の動きがスムーズになってきた

ひとこと！

　両手を使っての動作をする、動作をせざるを得ない課題に取り組むことで、どんどん両手の協働の動きもスムーズになっている。

自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入） （区分・項目） 環境の把握（5）認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること コミュニケーション（1）コミュニケーションの基礎的能力に関すること	所属 小学部4年

ねらい

- きまりのあるゲームをすることを通して、順序や時間、全体の流れなどを把握できるようにする。
- やり取りのあるゲームをすることを通して語彙を増やしたり、やり取りを楽しんだりする。
- ゲームをすることを通して、相手と適切なかかわりができるようにする。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果　配慮点など）

【個別学習の場面で2名一緒に学習・メモリーゲームの実施】

【ねらえる効果】

◆カップが全部なくなったら終わり→視覚的に一回のゲームの終わりが分かりやすい。

◆好きなイラストを一人一枚選んで一回ずつゲームをする。

→2枚のイラストをしたらゲームは終わり、という全体の流れが分かりやすい。

ダイソーに
あります！

◆順番があるゲーム

→「次は○○さん」「どうぞ」「ありがとう」などの言葉に触れる機会を増やせる。

① 2名でじゃんけんをして、先攻・後攻を決める

・じゃんけんをすることの経験：「じゃんけんぽん！」を一緒に言いながらじゃんけんをする。

・勝ち→先攻、負け→後攻の決まりを知り、守ってゲームをする経験



② ゲームをする。

・順番：相手を待って自分の番が来ることが分かる。

・ルール：同じ図柄を当てたら自分がふたをゲットできることを知る。

③ 結果を知る。

・自分と相手がいくつずつふたをとったか数を数える。

・多いほうが勝ち、ということに気づく。

【児童の実態】

・友達と関わることに関心が向きにくい児童と、特定の友達と関わることが多い児童の組み合わせです。

・一緒にルールのあるゲームをすることは初めてです。



【配慮点】

・教師と一緒に始めることで、ゲームのルールが分かるようにした。

・ゲームが面白い、楽しいと感じることができるような言葉かけを続けた。

ひとこと！

・友達に「○○さん、すごい！」と言われて、友達に関心が向きにくい児童が目を輝かせてうれしそうな表情をしたことがとても印象的でした。

自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入） （区分・項目） 心理的な安定（１）情緒の安定に関すること。 人間関係の形成（１）他者とのかかわりの基礎に関すること。 （４）集団への参加の基礎に関すること。	所属 小学部４年

ねらい

・見通しをもち、気持ちを落ち着けて活動に取り組む。
・思い通りにならない場面でも気持ちを切り替える。
・順番やルールを守りながら、友達と一緒にゲームを楽しむことができる。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果　配慮点など）

魚つりゲームをしよう（全５回）

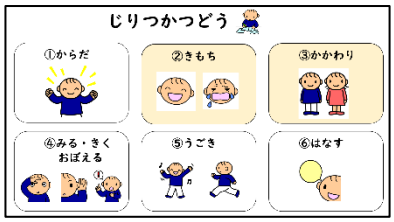


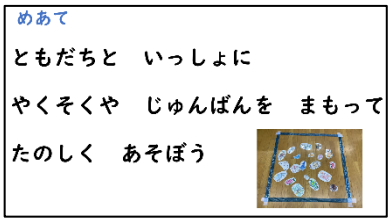
◎学級の児童の実態

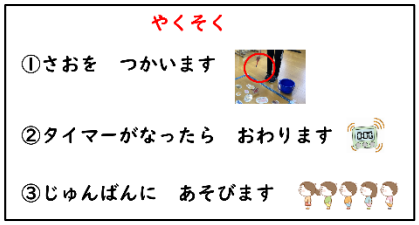
・活動の見通しがもてると、安心して落ち着いて活動に取り組むことができる。
・勝敗のある活動では、負けることを受け入れることが苦手な児童もいるが、経験を積み重ねる中で少しずつ受け入れられるようになってきている。
・順番やルールが明確な活動では、友達と関わりながら遊ぶ姿が見られるようになってきている。
・遊びを通して、教師や友達とのやり取りを楽しむ児童が増えてきている。

◎授業の展開

①自立活動で学ぶこと・本時のめあて・魚つりゲームの遊び方や約束を確認する。







②順番に魚つりをする。

③振り返りをする。
※「できたこと」「がんばったこと」「楽しかったこと」などを発表する。

◎配慮点

・魚つりゲームの遊び方や約束、順番を視覚的に提示する。
・最初は一人ずつ魚つりを行い、遊び方に慣れてきたら、二人組で行う。

ひとこと！

魚つりゲームを楽しみながら、順番を待ったり、友達と一緒に遊んだりする経験を積み重ねました。友達との関わり方や気持ちの切り替え方を少しずつ学んでいます。

自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入） （区分・項目） ３　人間関係の形成 （１）他者とのかかわりの基礎に関すること。 ４　環境の把握 （１）保有する感覚の活用に関すること。 ６　コミュニケーション （１）コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 （２）言語の受容と表出に関すること。	所属 小学部４年

ねらい

・写真カードを教師に渡し、「ください」の言葉を添えて、教師に使いたい玩具を要求する。
・写真カードをよく見て、複数の写真カードの中から自分が欲しい玩具の写真カードを選択する。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果　配慮点など）

実態

・喋ったり、歌ったりすることが好きで、常にお気に入りの歌や言葉を発していることが多い。しかし、支援を求める場面で「手伝ってください」「ください」などの支援を要求する言葉を、自ら言うことが難しく、支援者を引っ張ったり、「先生」と連呼したりして伝えようとしたりする。
・遊ぶ玩具が2種類に固定化されている。
・一定時間、注視することが難しい。

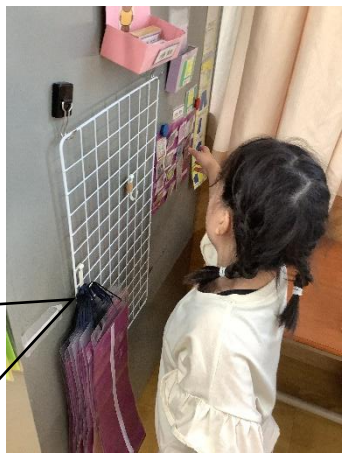
写真カード



たくさん玩具を持っていたのですが、児童本人が把握していなかったので、1つ1つ写真カードにしました。

持っている玩具を全て写真カードで示したことで、様々な玩具に興味が出たようで、遊ぶ玩具の種類も9種類ほどに増えました。最近は玩具写真カードをよく見て、欲しい玩具の写真カード選ぶことができています。

複数の写真カードから自分が使いたい玩具のカードを選んでいる様子



ひとこと！使い方を繰り返し練習するうちに、休憩の時間に使いたい玩具の写真カードを選んで教師に持ってくることができるようになりました。カードを渡す際には「ください」と言う練習を教師と繰り返したことで、現在は「ください」と自ら言うことができています。

自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入） （区分・項目） 環境の把握（4）感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること 身体の動き（1）姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること （5）作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	所属 小学部５年

ねらい

- 体の部位の名称を知る。
- 様々な体の動きを行いながら、細部まで意識して腕や足を動かしたり、体のバランス力や体重移動をする力を高めたりする。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果　配慮点など）

実態

- 顔のパーツの名前は知っているが、肘や膝、踵など体全体の部位の名称は結びついていない。
- 体操やダンスなど簡単な動きを大まかに模倣することはできるが、曲げ伸ばし、まわす、方向など細かな部分まで意識して動かすことは難しい。
- 片足でバランスをとったり、階段を片足ずつ交互に下りたりすることに課題がある。

体の部位の名称を覚える

- 体タッチゲーム
（教師の真似、言葉を聞いてなど）

動きの模倣・細部まで意識した動き

- 簡単なストレッチや体操
肘や膝を曲げる・伸ばす
片足立ち
ジャンプ　　など





階段を片足ずつ下りる練習

- 手すりをもって
- 片足で立つ
- 教師が出す足を一緒に示す
- 足型を示す
- 少しずつテンポup

- イラストや写真などでも提示した動物のまねっこ（アザラシ、猫、かえる、フラミンゴなど）
- フラフープやトンネルくぐり
- 教師が万歳した手や高い所にもったボールにジャンプしてタッチ
- 児童の体（洋服）に付けたシールや洗濯ばさみを自分でとる）

ひとこと！

体を動かす時には、学習した体の部位を意識して声をかけながら教師も一緒に取り組み、何より楽しんでできるようにと思っています。

自立活動（※各教科との関連があるときは教科名も記入） （区分・項目） 環境の把握（５）認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること 心理的安定（１）情緒の安定に関すること （２）状況の理解と変化への対応に関すること 各教科との関連（体育）	所属 小学部６年

ねらい

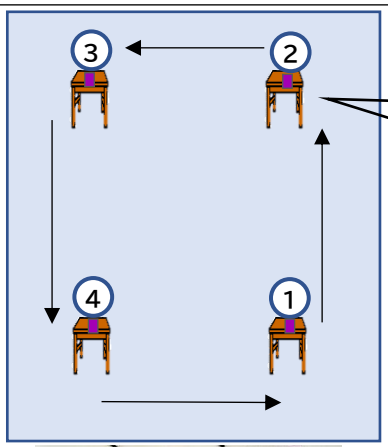
・見通しをもって、一人で落ち着いて活動に取り組む。
・制止されずに最後まで一人で落ち着いて運動を終えることで、達成感を味わう。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果　配慮点など）

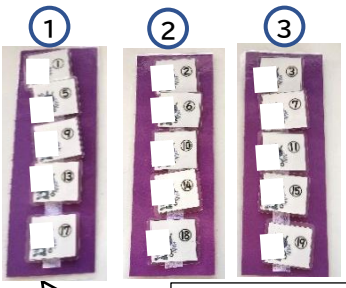
実態

・制止されることが苦手。
・気になるものを見つけると、それで触ったり遊んだりしてしまう。
・提示された課題等は最後まで丁寧に取り組む。
・朝の運動中、気になるものが多く、途中教師に制止され不穏になることが多かった。

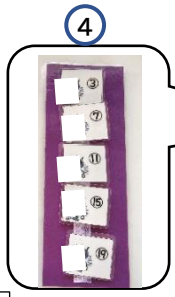
運動場での朝の運動は気になるものが多いため、室内で確実に決められた回数をまわるところから始めた。



いすに回数チップを貼っておき、チップを集めながら、いすの周りを走る。



回数チップ





回数チップを取りながら走っている児童
右手には台紙を持っています



回数チップを貼る台紙

回数チップには、好きなキャラクターのイラストと番号を書いています。

ひとこと！

一人で落ち着いて朝の運動に取り組めています。今では、体育の授業のランニングでもこれを応用して、他のクラスの児童がいる中でも運動できるようになりました。